

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 2 日 (2012.8.2)

【公表番号】特表 2011-526941 (P2011-526941A)

【公表日】平成 23 年 10 月 20 日 (2011.10.20)

【年通号数】公開・登録公報 2011-042

【出願番号】特願 2011-516304 (P2011-516304)

【国際特許分類】

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

C 0 8 L 51/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/521 (2006.01)

C 0 8 L 27/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 L 51/00

C 0 8 K 5/521

C 0 8 L 27/12

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 6 月 18 日 (2012.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

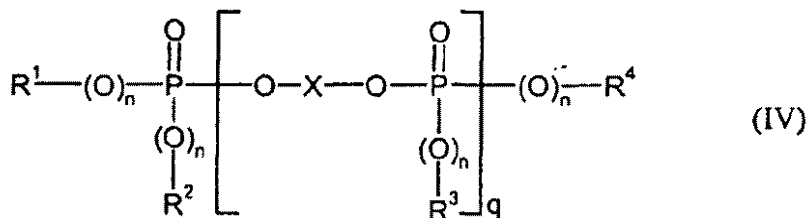
【請求項 1】

(A) 線状芳香族 (コ) ポリカーボネート 50 ~ 95 %、

(B) 少なくとも 1 つのビニルモノマーの重合生成物および (i) 内部侵入および分離されないシリコン成分およびポリ (メタ) アクリレート成分を含有するゴムおよび (i i) シリコンゴムから成る群から選択される粒子形態の架橋メンバーを含有する基剤を含むグラフト層を有するグラフト (コ) ポリマー 1 ~ 15 %、

(C) 式 (IV)

【化 1】



(式中、R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup>およびR<sup>4</sup>は各々独立して、C<sub>1</sub> - C<sub>8</sub> - アルキル、または C<sub>5</sub> - C<sub>6</sub> - シクロアルキル、C<sub>6</sub> - C<sub>20</sub> - アリールまたは C<sub>7</sub> - C<sub>12</sub> - アラルキルを示し、n は互いに独立して 0 または 1 であり、q は 0.5 ~ 30 を示し、X は炭素数 6 ~ 30 のモノ - またはポリ - 核芳香族基または炭素数 2 ~ 30 を有する線状または分岐鎖脂肪族基である。)

で表わされるリン含難燃化合物 2 ~ 20 % および

(D) フッ素化ポリオレフィン 0.1 ~ 10 % を含有し、前記は % すべて (A)、(B)、(C) および (D) の総重量に対するものであり、組成物はポリアルキレンテレフタ

レートまたはホウ素化合物をどちらも含まない熱可塑性成形組成物。

【請求項 2】

前記成分 (A) が 60 ~ 90 % の量で存在し、成分 (B) が 3 ~ 12 % の量で存在し、成分 (C) が 5 ~ 15 % の量で存在し、かつ成分 (D) が 0.2 ~ 1 % の量で存在する請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

前記成分 (A) がビスフェノール A に基づくホモポリカーボネートである請求項 1 記載の組成物。

【請求項 4】

前記メンバーが内部侵入および分離できないシリコン成分およびポリ (メタ) アクリレート成分を含有するゴムである請求項 2 記載の組成物。

【請求項 5】

前記シリコン成分、ポリ (メタ) アクリレート成分およびグラフト相が重量比で 70 ~ 90 / 5 ~ 15 / 5 ~ 15 である請求項 4 記載の組成物。

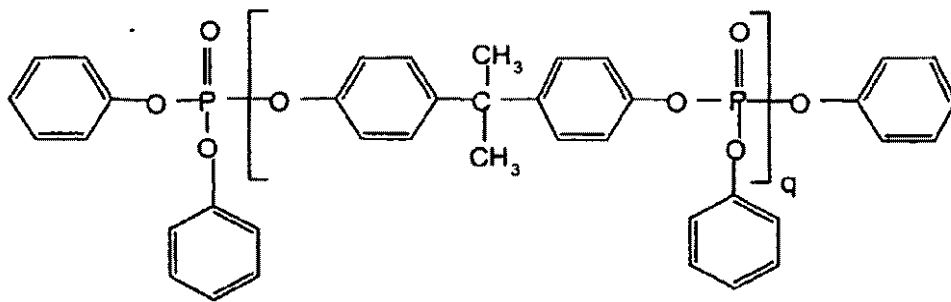
【請求項 6】

前記粒子がメデアン粒径 0.05 ~ 5  $\mu$  を有する請求項 1 記載の組成物。

【請求項 7】

前記成分 (C) が

【化 2】



(式中、q は 1 ~ 2 を示す。)

で表わされる請求項 1 記載の組成物。

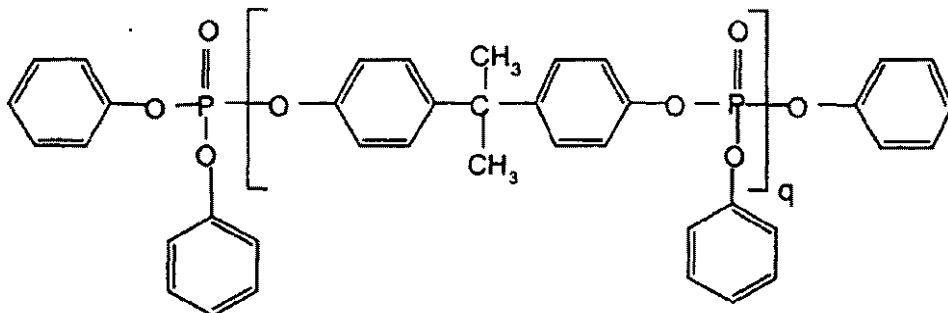
【請求項 8】

さらにスチレン系共重合体、潤滑剤、離型剤、核形成剤、静電制御剤、熱安定剤、加水分解安定剤、光安定剤、着色剤、顔料、充填剤、補強剤、成分 (C) 以外の防炎剤および防炎相剩剤から成る群から選択される少なくとも 1 つのメンバーを含有する請求項 1 記載の組成物。

【請求項 9】

リン含有難燃化合物が式

【化 3】



(式中、q が 1 ~ 2 である。)

で表わされる請求項 8 記載の組成物。

【請求項 10】

前記ビニルモノマーがスチレン、 $\alpha$ -メチルスチレン、メチルメタクリレート、 $n$ -ブチルアクリレートおよびアクリロニトリルから成る群から選択される請求項1記載の熱可塑性成形組成物。

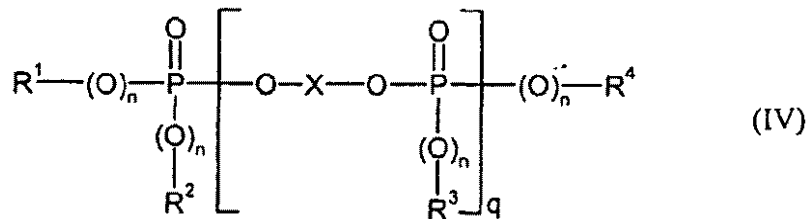
【請求項11】

(A) 線状芳香族 (コ) ポリカーボネート 50 ~ 95 %、

(B) コアーシェル構造を有するグラフト (コ) ポリマーであって、シェルが重合アルキル (メタ) アクリレートを含み、コアが (i) 内部浸入および分離されないシリコン成分およびポリ (メタ) アクリレート成分を含むゴムおよび (ii) ポリシロキサンゴムから成る群から選択される粒子形態の架橋部分を含有するもの 1 ~ 15 %、

(C) 式 (IV)

【化4】



(式中、 $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$  および  $R^4$  は各々独立して、 $C_1$  -  $C_8$  - アルキル、または  $C_5$  -  $C_6$  - シクロアルキル、 $C_6$  -  $C_{20}$  - アリールまたは  $C_7$  -  $C_{12}$  - アラルキルを示し、 $n$  は互いに独立して0または1であり、 $q$  は0.5 ~ 30を示し、 $X$  は炭素数6 ~ 30のモノ-またはポリ-核芳香族基または炭素数2 ~ 30を有する線状または分岐鎖脂肪族基である。)

で表わされるリン含有難燃化合物 2 ~ 20 % および

(D) フッ素化ポリオレフィン 0.1 ~ 10 % を含み、前記は % すべて (A)、(B)、(C) および (D) の総重量に対するものであり、組成物はポリアルキレンテレフタレートまたはホウ素化合物をどちらも含まない熱可塑性成形組成物。

【請求項12】

前記成分 (A) が 60 ~ 90 % の量で存在し、成分 (B) が 3 ~ 12 % の量で存在し、成分 (C) が 5 ~ 15 % の量で存在し、かつ成分 (D) が 0.2 ~ 1 % の量で存在する請求項11記載の組成物。

【請求項13】

前記成分 (A) がビスフェノール A に基づくホモポリカーボネートである請求項11記載の組成物。

【請求項14】

前記メンバーが内部浸入および分離できないポリオルガノシロキサン成分およびポリ (メタ) アクリレート成分を含むゴムである請求項12に記載の組成物。

【請求項15】

前記ポリオルガノシロキサン成分、ポリ (メタ) アクリレート成分およびシェルが重量比で 70 ~ 90 / 5 ~ 15 / 5 ~ 15 である請求項14記載の組成物。

【請求項16】

前記重量比が 75 ~ 85 / 7 ~ 12 / 7 ~ 12 である請求項15記載の組成物。

【請求項17】

前記重量比が 8 / 10 / 10 である請求項16記載の組成物。

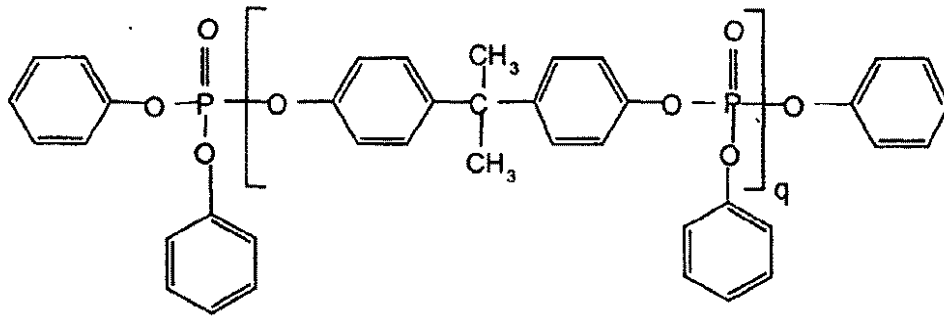
【請求項18】

前記粒子がメデアン粒径 0.05 ~ 5  $\mu$  を有する請求項11記載の組成物。

【請求項19】

前記成分 (C) が

## 【化 5】



(式中、q は 1 ~ 2 を示す。)

で表わされる請求項 11 記載の組成物。

## 【請求項 20】

さらにスチレン系共重合体、潤滑剤、離型剤、核形成剤、静電制御剤、熱安定剤、加水分解安定剤、光安定剤、着色剤、顔料、充填剤、補強剤、成分(C)以外の防炎剤および防炎相剩剤から成る群から選択される少なくとも 1 つのメンバーを含有する請求項 11 記載の組成物。